

# 至仏山（残雪春山ハイク）

2022年5月4日（水）2日目

Reported by Ikedo

待ちに待った残雪の至仏山（2228m）に挑戦する朝を迎えました、昨夜眼鏡を見つけられなかった堀さん、朝食には眼鏡姿、昨夜の記憶はないそうでした。



歩程は、鳩待峠登山口から至仏山往復

昨夜は、20時前後就寝、朝は5時前後に起きて、朝風呂につかる、吉松さんは、4時には起床、街並み 喜楽看板などを撮影。



6時に朝食、美味しく戴きました、







バスは、6 時 30 分出発の乗り合いバス。朝食も早々に出発準備、運転手も催促に来る。約 1 名の方、最後にあわただしくバスに乗り込み、6 時 40 分出発。客を拾いながら、登山口へ。



出発前に尾瀬の看板の前で記念撮影 7 : 35



出発前準備の場所、今年は積雪 2m 近くある



準備も整い、いざ登山です。7 : 50



気持ちの良い樹林帯にて。8 : 04





至仏山が良く見える地点に到達8：31 小至仏山から至仏山へ歩いていきます。



反対方向に燧ヶ岳が良く見える8：48 小休止



オヤマ沢田代か？ 広い雪原に出る 9:19



前方に目指す至仏山、反対方向には、燧ヶ岳 9:20



アップ撮影、小至仏山、至仏山は未だ見えない 9:21



小至仏山、トラバースだが初岩場 9:30



岩場を超えて見える燧ヶ岳



しばし休憩



小至仏山を超えると、至仏山が現れる 9:48





ここから至仏山頂上向かって急斜面となる 10:09



いよいよ頂上を望む地点まで来ました 10:13



小至仏の岩場をバックに 10:18



頂上目前地点 10:20





## 頂上で記念撮影 10:25



頂上は、大変混んでいた！

頂上では、登山、スキー、スノーボードの若い人等大勢いて大変混雑しており、ゆっくりするスペースも取れず。なぜか堀さん、早く下ろうと！昼食スペースもないし、時間も早いので、すぐ降りようと言う！途中の休憩時、時計を忘れた！下りは時計探しもあり、早い！残念ながら、皆さん協力し、心当たりを探したが見つからず。堀さんには、高い山行きとなった。最短の頂上滞在10分。



頂上からの越後方面の眺め。10:35 下り始める



10:41 至仏から小至仏へ下る



10:47 更に下り景観





あっという間に斜面を下る 10:58



小至仏山のトラバース道 11:08



燧ヶ岳もよく見える、眺めの良い場所にきたので、昼食にすることにした、 11:41



喜楽旅館が用意してくれた昼食。コメが旨い！



堀さんの後ろに見える、燧ヶ岳。 昼食時間余裕の 20 分で 12:00 出発



12:56 先頭が登山口に到着



13:00 到着





登山口にある、鳩待峠休憩所

尾瀬の看板の有る登山口に下山、小型乗り合いタクシーが待ち受けており、6人そろって尾瀬戸倉に向かい順次出発。自家用車で来た人の駐車場経由、喜楽旅館前まで行ってくれた、預けた荷物を受け取り、急遽バスターミナルに戻ると尾瀬戸倉 13:45 沼田行が出たばかり、次は上毛高原行き戸倉 14:19 分、風呂に入って次の 15:12 分に乗るか？そうこうしているうちに次のバス 14:19 のバスが来てしまい、戸倉での温泉をあきらめバスに乗る、車内で中島さん温泉を探す。



ありました！塩の井バス停から歩いて5分



望郷の湯





温泉入り口前で撮影、湯上り美人、美男

バス停から、沼田行のバスに乗り、沼田駅に到着、さあ！そばを食べよう！と駅前の蕎麦屋を探す、今日はすでにそばが売り切れて閉店の店、他店は定休日と（水曜定休日）、残念ながら、最後の目的のそばを食べれず。駅前近くのコンビニ？店内でビールで乾杯をした、帰りの電車は沼田 17:04 予定通り乗車。

感想：3年越しの至仏残雪ハイク、夏の至仏山は登ったが、残雪の至仏山は熊本さんから、提案があった時に、ぜひ登りたいと参加表明、しかし2年間コロナで行けず。今年はゴールデンウィーク期間中、緊急事態宣言もなく、又天気にも恵まれ、雪山ハイクを楽しむことが出来た。前日の吹き割の滝周遊ハイクと、企画された熊本さんに感謝です。

今年は積雪が多く、数日前にも雪が降ったようで、高度が上がるにつれてよい雪質でした。大勢の人が歩いた雪道は、歩きやすく、楽に歩けました。皆日焼けで、風呂上がりの鼻が赤い。

余談：

送迎運転手談、今年は雪が綺麗、北京オリンピックで中国が、ばい煙規制したから！いつもの年は雪が汚れているとの事、確認したい人は、来年も来てくださいと！

池戸